

学校部活動の活動方針

市川市立第六中学校

校長名 植木 昭貴

| | |
|----------------------------|--|
| 教育目標 及び 部活動の 教育意義 | <p>○学校教育目標 「やさしく たくましく 生きる人間に成長しよう」</p> <p>○学校教育目標と部活動の関連、部活動の教育的意義等 部活動は、スポーツや文化等に親しむことで、技術・体力・感性等の向上だけでなく、学習意欲の向上や責任感、連帯感の涵養に資するなど生徒の多様な学びの場として教育的意義は高いものがある。しかし、長時間の活動や指導者の確保など、課題もあることから、国や県の今後の動向及び市のガイドライン等を踏まえた運営を行っていく必要がある。</p> |
| 部活動の 基本方針 | <p>○適切な指導</p> <ul style="list-style-type: none">顧問（指導者）は、決められた時間の中で、合理的に、かつ効率的に活動できるよう工夫する。指導に当たっては、体罰はもちろんのこと生徒の人格や尊厳を傷つけるような不適切な指導並びにパワハラ・セクハラ等のハラスメントの根絶を徹底する。 <p>○適切な活動時間</p> <ul style="list-style-type: none">平日においては長くとも2時間程度、休業日においては3時間程度を基準とする。やむを得ずこの時間を超えて活動する場合は、その前後の活動時間を短縮して調整する。学期中は、週当たり平日1日（朝練習1日＋水曜日の放課後）以上、休養日1日以上の合計2日以上の休養日を設ける。大会等により土・日とも活動した場合は、他の曜日に休養日を振り替える。長期休業中は学期中の休養日設定に準じるが、夏季の学校閉庁日や年末年始の休日を活用し、まとまった休養期間を設ける。 <p>○事故の防止</p> <ul style="list-style-type: none">活動中のけがや事故を未然に防止し、安全な活動環境を整える。熱中症予防のため、暑さ指数（W B G T）が31℃以上のときは活動を制限する。（活動場所による）校外で活動するため自転車で移動する際は、ヘルメットを着用する。 |